

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間システムデザイン 教授・准教授	教 育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	0.3	【5:特に優れている】 レベル4以上の講義を担当している 【4:水準を上回っている】 4時限以上6時限未満講義を担当している。 【3:水準に達している】 標準的講義数(2時限以上～4時限未満分)を担当している。 【2:改善の余地がある】 標準的講義数未満の講義を担当している 【1:問題があり改善を要する】 講義を担当していない
		授業科目の担当状況【大学院】	0.3	【5:特に優れている】 際立って多くの講義を担当している 【4:水準を上回っている】 標準的講義数より多くの講義を担当している。 【3:水準に達している】 標準的講義数(演習科目・スタジオ科目等以外に、博士課程前期1科目、または博士課程前期1科目と後期1科目)を担当している。 【2:改善の余地がある】 標準的講義数未満の講義を担当している 【1:問題があり改善を要する】 講義を担当していない
		卒業研究指導状況	0.2	【5:特に優れている】 際立って多い数の学生を指導している 【4:水準を上回っている】 標準より多い数の学生の指導をしている。 【3:水準に達している】 標準的な数(2～4名)の学生を指導している。 【2:改善の余地がある】 標準より少ない数の学生の指導をしている。 【1:問題があり改善を要する】 卒業研究の学生の指導をしていない。
		博士課程前期研究指導状況	0.4	【5:特に優れている】 8名以上数の学生を指導(主担当)している。 【4:水準を上回っている】 5名～7名以上の学生を指導(主担当)している。 【3:水準に達している】 1名～4名の学生を指導(主担当)している。 【2:改善の余地がある】 最近2年間で学生指導(主担当)を行っている。 【1:問題があり改善を要する】 博士課程前期の学生を指導する意思がない、または、3年間指導がない。
		博士課程後期研究指導状況	0.5	【5:特に優れている】 4名以上の学生の指導(主担当)をしている。 【4:水準を上回っている】 1～3名の学生の指導(主担当)をしている。 【3:水準に達している】 5年以内に学生の指導(主担当)をしている。 【2:改善の余地がある】 10年以内では学生の指導(主担当)実績がある。 【1:問題があり改善を要する】 10年以上学生の指導(主担当)実績が無い。
		留学生の受入状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の教育活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間 システムデザイン 教授・准教授	教 育	教育方法の改善に関する取組状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の教育活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		その他の教育活動	0.8	【5:特に優れている】 総合的にユニット・EPの水準を際立って上回っている。 【4:水準を上回っている】 総合的にユニット・EPの水準を上回っている。 【3:水準に達している】 総合的にユニット・EPの水準に達している。 【2:改善の余地がある】 総合的にユニット・EPの水準以下である。 【1:問題があり改善を要する】 総合的にユニット・EPの水準と比較して極めて低い。

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間 システムデザイン 教授・准教授	研 究	学術雑誌等の論文公表の状況	0.8	【5:特に優れている】 査読付きJournal論文4件以上、または2年間で7件以上 【4:水準を上回っている】 査読付きJournal論文3件以上、または2年間で5件以上 【3:水準に達している】 査読付きJournal論文1件以上、または2年間で2件以上 【2:改善の余地がある】 査読付きJournal論文2年間で1件以上 【1:問題があり改善を要する】 レベル2を下回る場合
		学術専門書等の執筆、編集の状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		解説、総説等の公表状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		特許出願状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		学術賞等の受賞の状況	0.2	【5:特に優れている】 今年度特にレベルの高い賞を受賞した 【4:水準を上回っている】 今年度受賞した 【3:水準に達している】 今年度受賞していない 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間 システムデザイン 教授・准教授	研究	学会発表、講演等の状況	0.3	【5:特に優れている】 10件以上 【4:水準を上回っている】 6件～9件 【3:水準に達している】 1件～5件 【2:改善の余地がある】 0件 【1:問題があり改善を要する】 3年間発表がない
		学術調査、研究報告等の活動状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		科学研究費の申請、獲得状況	0.4	【5:特に優れている】 複数の科研費を獲得 【4:水準を上回っている】 「科研費の申請をした」、かつ、「1件獲得」 【3:水準に達している】 「科研費の申請をした」、かつ、「3年間で1件以上獲得」 【2:改善の余地がある】 科研費の申請をした 【1:問題があり改善を要する】 科研費の申請をしない
		共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.4	【5:特に優れている】 800万円以上 【4:水準を上回っている】 300万円以上 【3:水準に達している】 外部資金を獲得した 【2:改善の余地がある】 外部資金獲得の努力をしたが獲得には至らなかった 【1:問題があり改善を要する】 外部資金獲得の努力をしていない
		その他の研究活動	0.8	【5:特に優れている】 ユニットで定める業績ポイントにおいて6.0pt以上 【4:水準を上回っている】 ユニットで定める業績ポイントにおいて4.0pt以上 【3:水準に達している】 ユニットで定める業績ポイントにおいて2.0pt以上 【2:改善の余地がある】 ユニットで定める業績ポイントにおいて1.5pt以上 【1:問題があり改善を要する】 レベル2を下回る場合

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間 システムデザイン 教授・准教授	社会貢献	国、地方公共団体での活動状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		学会等の学術団体での活動状況	0.3	【5:特に優れている】 学会長、理事等として活動している。または、学会の委員会の委員長、部会長等として複数の活動がある 【4:水準を上回っている】 学会の委員会の委員長、部会長等として活動している 【3:水準に達している】 学会の委員等として複数活動している 【2:改善の余地がある】 学会の委員等として活動している 【1:問題があり改善を要する】 活動していない
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		国際共同研究に関する活動状況	0.2	【5:特に優れている】 国際共同研究を複数実施した 【4:水準を上回っている】 国際共同研究を実施した 【3:水準に達している】 最近5年以内に国際共同研究を実施した、または、国際共同研究を実施する意思がある 【2:改善の余地がある】 国際共同研究を実施する意思がない 【1:問題があり改善を要する】
		海外活動支援の状況	0.4	【5:特に優れている】 顕著な活動あり(9件以上) 【4:水準を上回っている】 標準を超える活動状況である(4件~8件) 【3:水準に達している】 標準的な活動状況である(2件~4件) 【2:改善の余地がある】 標準未満の活動状況である(1件) 【1:問題があり改善を要する】 活動がない

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間 システムデザイン 教授・准教授	社会貢献	地域連携活動の状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		その他の社会貢献活動	1	【5:特に優れている】 ユニットで定める社会貢献活動評価において顕著な活動あり(10件以上) 【4:水準を上回っている】 ユニットで定める社会貢献活動評価において標準を超える活動状況である(6件~9件) 【3:水準に達している】 ユニットで定める社会貢献活動評価において標準的な活動状況である(1件~5件) 【2:改善の余地がある】 ユニットで定める社会貢献活動評価において標準未満の活動状況である(3年間で1件以上) 【1:問題があり改善を要する】 活動がない

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
海洋空間 システムデザイン 教授・准教授	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	0.5	【5:特に優れている】 ユニット代表、EP代表等の職責を果たしている。 【4:水準を上回っている】 学部:入試・広報委員、教務・厚生委員、 大学院:入試・留学生委員、教務・図書委員 などの職責を果たしている。 【3:水準に達している】 上記以外の学内委員等の職責を果たしている。 【2:改善の余地がある】 学内の管理運営業務を担当していない。 【1:問題があり改善を要する】 5年以上、学内の管理運営業務を担当していない。
		入試業務に係わる活動状況	0.5	【5:特に優れている】 学部入試出題責任者レベルの職責を果たしている。 【4:水準を上回っている】 学部入試出題者、大学院入試出題責任者レベルの職責を果たしている。 【3:水準に達している】 学部入試出題者補助者、大学院入試出題者レベルの職責を果たしている。 【2:改善の余地がある】 出題業務を担当していない。 【1:問題があり改善を要する】 入試業務において過失を犯す。 入試業務を正当な理由なく拒否する。
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の管理運営業務で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の管理運営業務で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		その他の管理運営業務	0.5	【5:特に優れている】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を水準を際立って上回って果たしている。 【4:水準を上回っている】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を水準を上回って果たしている。 【3:水準に達している】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を果たしている。 【2:改善の余地がある】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を十分に果たしているとは言えない。 【1:問題があり改善を要する】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を果たしていない。